

平成 27 年度第 1 回生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体 会議録（議事要旨）

1 開催日時 平成 27 年 11 月 24 日（火）午後 5 時から午後 6 時 30 分

2 場 所 清瀬市役所 4 階第 1・2 委員会室

3 出席者

（1）委員

地縁団体 阿久津 州美男

内野 光裕

地域福祉団体 星野 孝彦

小野 秀

高田 徳次郎

柳原 義介

福嶋 康人

名古屋 英幸

上垣 真人

倉重 光一郎

生活支援サービス事業関係者 村田 秀子

介護保険サービス事業関係者 稲川 悦子

（2）職員

高齢福祉担当部長 小山 利臣

健康福祉部長 八巻 浩孝

企画部企画課市民協働係長 小田島 弘幸

健康福祉部障害福祉課長 新井 勸資

健康福祉部高齢支援課長 細山 克昭

健康福祉部健康推進課長 田村 晶子

健康福祉部地域包括ケア推進課副参事 関口 美智子

健康福祉部地域包括ケア推進課福祉総務係長 根津 雅美

健康福祉部高齢支援課高齢福祉係長 岩崎 博幸

健康福祉部地域包括ケア推進課 内田 美穂子

吉村 晶子

湯瀬 大

4 次第

(1) 開会

(2) 挨拶

健康福祉部長

お忙しい中、皆様にはご出席を賜りまして、日頃より、市の福祉行政に御尽力頂き、誠にありがとうございます。そして、清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体の委員をお願いしたところ、快くお受けいただきまして、心より御礼申し上げます。御承知の通り、団塊の世代の方々が75歳以上となる、2025年までに医療・介護・生活支援など地域包括ケアシステムの構築が急がれているところでございます。このような中、市では第6期介護保険事業計画を含む高齢者保健福祉計画を3月に策定しまして、この4月からスタートしているところでございます。具体的には健康大学や認知症・介護予防に向けた脳トレ元気塾などの充実、地域包括支援センターの拡充、成人歯科検診の実施等、今回の計画に沿って事業を進めております。当市におきましても、一層少子高齢化が進んでまいりますが、市民ひとりひとりが身体的な健康だけでなく、幸せを実感していただけるよう「生き生きと健幸で明るく元気な清瀬市」を目指しています。特に高齢者の皆様には重篤な状態となっても自分の住み慣れた地域で安心して暮らしていくには、身近な地域の市民の皆様による、見守りや生活などの「支え合い」の力が重要です。そのためには子どもからお年寄りまでが『自分で出来ることはできるだけ自分でする』『他人を支える活動に気軽に参加をすることがあたりまえ』という市民の気持ちの変化が必要不可欠でございます。委員に御就任頂いた皆様には皆様のネットワーク・力量を一層活かして頂きまして市民の方々が安心して生活できる仕組みの構築に御協力をお願いしたいと思っております。市のスローガンであります「手をつなぎ、心をつむぐ、みどりの清瀬」の実現に向けまして、御協力お願い申し上げます。

(3) 委嘱状交付

委員に交付及び確認

(4) 配布資料の確認

資料1 清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体委員名簿

資料2 清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体設置要綱

資料3 清瀬市生活支援コーディネーター設置要綱

資料4 平成27年度生活支援コーディネーター養成研修募集要項

当日配布資料 地域包括ケアシステム

(5) 委員紹介 【資料1】

委員

六小地区自治会連合会で地域づくりを行っています。知り合い、あいさつしあうことを大切にしています。うめのたけまつりでは地域の病院・大学等・企画課等が来てくれて、大変盛り上がりました。

委員

清瀬商工会副会長をしています。平成27年11月28日にひまわり市があります(年2回開催)。農工商連携して対応しています。是非とも御参加下さい。また、市民まつりでは多くの御協力をいただきましてありがとうございます。今後はシャッター通りをつくらない、地元で商売をされている方々を支援するなど、根強い支援に取り組んでいきたいです。

委員

社会福祉協議会も協議会と記載されているように職員の力だけで対応するのではなく、地域の力と共に福祉のまちづくりを進めるのが大きな目的です。今回の協議体は社会福祉協議会の取り組みにも反映していくものではないかと考えています。今回の協議体では皆様のいろいろな考え方を学んでいきたいと思えます。

委員

老人クラブの会員では91歳の方が2名元気に在籍しており、グランドゴルフなどしています。健康づくり、仲間づくり、生きがいくづくり、地域づくりに今後も関わっていききたいと思えます。

委員

福祉関係の知見が無いため色々ご指導いただきたいと思えます。市民の健康を少しでもよくしたいと考えています。健康づくり推進員の活動としては月に1回、いきいきハイキングをしています。5キロコースと10キロコースの2種類あります。元気な方は10キロ、体がよわい方は5キロをゆっくり歩いてもらっています。今日も西東京市まで行って帰ってきました。健康づくり推進員も地域の中でもサロン活動をしています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

委員

民生児童委員としては2年目という新参者ですが、思いはあついものを持っています。一人でも市民の方々を助けていけるように頑張りたいと思えます。

委員

シルバー人材センターは高齢者の雇用に安定等に関する法律に則って、就業を提供しています。会員は900名前後です。色々と御指導下さい。

委員

きよせ社協地域包括支援センター職員で主任ケアマネをしています。上清戸・中清戸・下清戸、元町の高齢者の相談窓口業務を行っています。母体は社会福祉協議会なので社会福祉協議会の業務も行っています。

委員

きよせ信愛地域包括支援センターでセンター長をしています。竹丘、梅園、野塩の地区を担当しています。この地区は75歳以上の高齢者が多く、特に独居高齢者が多い地域です。課題もありますが、六小、竹丘などをはじめ住民の活動が多い地域でもあります。これから高齢化によって支えが必要な方々が増える地域ですが、逆に、地域に力のある方々がお住まいなので必要な社会資源を作り出していくことができる地域だとも捉えています。皆様のお知恵をいただきながらまちづくりに関わっていきたいと思います。

委員

昨年まで清瀬市地域包括支援センターが担当していた中里、旭が丘、下宿を4月から担当しています。この地域は旭が丘団地、台田団地等、エレベーターの無い団地が多く、65歳以上の方が増えてきています。買い物の不自由さ、通院の不自由さなど、様々な不自由さが増えてきているとも感じています。協議体を通じ、様々なことを改善できればと考えている。また、近年、社会福祉法人の地域貢献が期待されているが社会福祉法人としてどのように関わられるか、お知恵を拝借したいです。

委員

介護保険、障害、それ以外の方の支援を長年行っています。清瀬と縁が深く、深いつながりがあり、是非とも清瀬に貢献していきたいと思います。

委員

介護保険が始まって以来ずっとケアマネをしています。要介護の人も要支援の人と一緒に参加できるまちづくりができればいいなと思っています。

事務局紹介。内容は省略

(6) 清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体設置要綱について

清瀬市生活支援コーディネーター設置要綱について【資料2】【資料3】

高齢福祉担当部長より当日配布資料について説明をする。国からは医療・介護・生活支援等が一体的に提供する地域包括ケアシステムを2025年度を目途に構築することが求められています。すべての高齢者に対し介護サービス・医療サービスを提供する為には財政的にまた、福祉人道的に厳しいのが現状です。このため地域の市民が地域の高齢者・障害者等を支える生活支援や介護予防等に一層力を入れていく必要があります。このような国の動向や課題・背景から市全体の方向性や必要な施策を決定する場として協議体を設置しました。また、平成28年度になるかと思いますが、生活支援コーディネーターを設置するため、要綱を制定させていただいております。各委員の方には後程、スライド等をご覧いただき、また、次回以降、国の考え等を改めて説明させていただきます。以降資料2及び資料3について説明。

(7) 委員長及び副委員長の選出及び就任の挨拶

委員

先程、トップバッターで御挨拶いただいた阿久津委員は色々な地域活動に熱心に取り組まれているので委員長をお願いしたい。そして副委員長には地域の中核を担っていただいている星野委員をお願いしたい。

他委員に承認頂き、委員長に阿久津委員、副委員長に星野委員が就任。

委員長

委員からの御推薦ありがとうございます。老体に鞭を打って頑張りたいと思います。一番大事なことは地域が知り合って、声をかけあって、支え合うことではないかと思っています。施設に入るのではなく、地域で支え合うことが大切です。他の委員の方も言われたようにそれが一番大切だと思います。家内が買い物行く際にも声をかけてもらおうと元気が出ると言っていたように本当に大切だと思います。そのような地域ができるように頑張っていきたいと思っています。

副委員長

社会福祉協議会職員になって15年経過して少しずつ、地域の方にお世話になりながら、様々な人と話ができるようになってきました。今回御参加されている方々は地域で活躍されている方々なのでいろいろと伺っていきたくと思っています。地域にネットワークづくりに関わっている主体の一人として皆様の自由な意見を構想としてつくり上げ、実践できればいいなと考えています。

(8) 議題

ア 協議体・生活支援コーディネーターの活動について

VTRをご覧ください。VTRの主な内容は八王子市清川町の街中にある店舗を拠点に、折り紙教室や作品展示、世代間交流イベントなど様々な活動と、手づくり惣菜の販売や配食サービスを行っている「きよびー&とまと」というボランティア団体の活動を紹介します。

事務局

協議体と生活支援コーディネーターはサービスを提供する方に他のサービスを提供する方を紹介したり、協議体にその情報を提供することが役割の一部となります。また、VTRに出演されているボランティア団体は場所に関してかなり苦勞されていますが、このように場所に関する情報を協議体に提供するのも大切な役割の一つになります

イ 清瀬市で活動している市民・団体の紹介

VTRをご覧ください。VTRの主な内容は清瀬で活躍している市民・団体等をスライドをご覧ください。

事務局

次回以降の協議内容として清瀬の社会資源の把握をお願いしたいと思っておりますので、御協力いただけますようよろしくお願いいたします。

ウ 東京都主催の研修について【資料4】

事務局

3名まで確保しています。ご興味がある方は後日、事務局に御連絡をよろしくお願いいたします。

エ 今後の協議体開催スケジュールについて

事務局

第2回目開催日程ですが、1月中旬の18日・19日・20日・22日・25日・27日で検討しています。開催時間は日中御希望の方が多いため日中とさせていただきます。調整後、連絡いたします。

オ 情報交換

委員長

このようなことをしてほしい等あったら、次回以降よろしくお願いいたします。六小自治会連合会では孫がカラテをやると親が見に来たり、中学生が吹奏楽をやると親も来るし祖父母もきます。人集めには孫が関わることが一番いいのではないかと思います。今後とも色々と協議していきたいと思っております。

(9) 閉会

事務局

知り合うこと・支え合うことが本当に大切だなと感じました。これが、起点となって大きくつながっていくのではないかと思っています。今後、根強いネットワークを作っていければと思っています。10.23 平方キロメートルと狭い地域ですが、支え合っ
て生きていことができたらいいなと感じています。

委員長

今日はこれで終わりとします。お疲れさまでした。